

令和7年度世田谷区立富士中学校 第1学年 美術科学習指導計画

	月	単元・項目（時間）	学 習 内 容	評価のポイント
1 学 期	4 月	【表現】デザインや工芸 「私の色・形」（21）	<ul style="list-style-type: none"> ・色の学習 ・私の分析、マイカラー決め ・混色練習 	・自分自身について考えたことをもとに色や形を選び、バランスを考えながら表現の構想を練っている。（思）
	5 月		<ul style="list-style-type: none"> ・「私の形」アイディア出し ・制作 	・形や色、構成などが与える効果について理解し、身につけた知識を元に、絵の具を使って効果的に色を混合、配色して創造的に表している。（知・技）
	6 月		<ul style="list-style-type: none"> ・発表、鑑賞 	・他の人の作品からよさや美しさを感じ取りながら、作者の意図や表現の工夫などについて考えるなどして、作品の見方や感じ方を広げている。（思）
	7 月	【鑑賞】「原始の美術」（2）	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞 	・作品からよさや美しさなどを感じ取り、つくられた時代背景や作品の形状などの特徴をもとに、自分なりの見方や感じ方を広げている。（思）
	9 月	【鑑賞】「美術館で鑑賞」（1） 【表現】絵画や彫刻 「塑像」（8）	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの宿題の鑑賞、発表 ・モチーフの観察、スケッチ ・制作 	・作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作品の特徴や作者の意図や工夫などを考えるなどして、自分なりの見方や感じ方を広げている。（思） ・モチーフのもつ特徴に気付き、形や色、質感を意識して表現の構想を練っている。（思）
	10 月		<ul style="list-style-type: none"> ・仕上げ ・発表鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・粘土の特徴や道具の使い方を理解し、モチーフの特徴を捉えて形や色、質感などを意図に応じて工夫して創造的に表している。（知・技） ・他の人の作品からよさや美しさを感じ取りながら、道具の使い方や表現の工夫などについて考えるなどして、作品の見方や感じ方を広げている。（思）
	11 月	【表現】デザインや工芸 「レタリング」（6）	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の学習 ・レタリング練習 ・制作 ・発表、鑑賞 	・自分自身について考えたことをもとに書体を選び、バランスを考えながら表現の構想を練っている。（思） ・絵の具の特徴やレタリングの技法を理解して、意図に応じて文字を美しく表している。（知・技）
	12 月	【鑑賞】西洋美術作品（1） 【表現】絵画や彫刻 「デッサン」（6）	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞 ・鉛筆の使い方練習 ・モチーフの観察、スケッチ 	・作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作品の特徴や作者の意図や工夫などを考えるなどして、自分なりの見方や感じ方を広げている。（思） ・モチーフの特徴に気づき立体感や質感などを意識して表現の構想を練っている。（思）
3 学 期	1 月		<ul style="list-style-type: none"> ・制作 ・発表、鑑賞 	・鉛筆の基本的な使い方や技法を理解し、モチーフをよく観察して形を捉え、立体感や質感などを意図に応じて工夫して表している。（知・技）
	2 月	【表現】【鑑賞】 「文様のデザイン」（3）	<ul style="list-style-type: none"> ・文様の鑑賞 ・アイディアスケッチ ・制作 	・文様の成り立ちや、形や色彩が感情にもたらす効果などを理解し、材料や用具の生かし方を身につけて、意図に応じて工夫して表している。（知・技） ・身の回りのもののおもしろさや美しさに気付き、単純化や配置などを意識し、表現の構想を練っている。（思）
	3 月			

令和7年度 第2学年 美術科学習指導計画

	月	単元・項目（時間）	学 習 内 容	評価のポイント
1 学 期	4 月	【表現】 デザイン・工芸／絵画・彫刻 「てん刻」（印面）（6）	・書体の鑑賞 ・篆刻、篆書体について ・アイディア出し（印面）	・意図に応じて印面のデザインを工夫したり、彫り方を考えたりして、表現の構想を練っている。（思）
	5 月		・制作（印面）	・道具や用具の正しい使い方を理解し、捺印することを考えて丁寧に印面を彫り創造的に表している。（知・技）
	6 月	【鑑賞】 絵画・彫刻 「彫刻作品」（1） 【表現】 デザイン・工芸／絵画・彫刻 「てん刻」（持ち手）（6）	・鑑賞 ・アイディア出し（持ち手） ・制作（持ち手）	・形や材料などの性質が感情にもたらす効果や作品の特徴などをもとに、よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。（知・技） ・作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作品の特徴や作者の意図や工夫などを考えるなどして、自分なりの見方や感じ方を深めている。（思） ・意図に応じて持ち手のデザインを工夫したり、彫り方を考えたりして、表現の構想を練っている。（思）
	7 月			・道具や用具の正しい使い方を理解し、意図に応じて持ち手の彫り方を工夫し創造的に表している。（知・技）
	9 月	【鑑賞】 絵画・彫刻 「シュルレアリスム」（1）	・生徒作品鑑賞 ・鑑賞	・他の人の作品からよさや美しさを感じ取りながら、道具の使い方や表現の工夫などについて考えるなどして、作品の見方や感じ方を深めている。（思） ・色や形、描かれた図柄の組合せや構図などの特徴などをもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。（知・技） ・作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作品の特徴や作者の意図や工夫などを考えるなどして、自分なりの見方や感じ方を深めている。（思）
	10 月	【表現】 絵画・彫刻 「魔法の世界」（14）	・構図、技法について ・アイディア出し	・テーマについて考えたことをもとに、遠近法や強調、省略などの効果や色や形、配置などを工夫して、表現の構想を練っている。（思）
	11 月		・制作	・絵の具など画材の特性をいかし、自分の表現方法を意図に応じて工夫して創造的に表している。（知・技）
	12 月			
3 学 期	1 月		・制作 ・展示準備 ・生徒作品鑑賞	・他の人の作品からよさや美しさを感じ取りながら、道具の使い方や表現の工夫などについて考えるなどして、作品の見方や感じ方を深めている。（思）
	2 月	【鑑賞】 絵画・彫刻 「版画と浮世絵」（1） 【表現】 デザイン・工芸 「キャラクターデザイン」（3）	・鑑賞 ・制作 ・鑑賞	・木版画を鑑賞することで浮世絵の技法や構図、色などの効果についての理解を深め、浮世絵を作風や作品の印象などで捉えることについて理解している。（知・技） ・浮世絵の造形的なよさや美しさを感じ取り、工夫などについて考えたり西洋絵画との相違点などに気づいたりして、見方や感じ方を深めている。（思） ・テーマについて考えたことをもとに、意図に応じて形や配色などを工夫して表現の構想を練っている。（思）
	3 月			

令和7年度 第3学年 美術科学習指導計画

	月	単元・項目（時間）	学 習 内 容	評価のポイント
1 学 期	4 月	【表現】 デザイン・工芸 「シンボルマークのデザイン」（11）	・鑑賞 ・アイディア出し	・テーマについて考えたことをもとに、意図に応じて形や配色などを工夫して表現の構想を練っている。（思）
	5 月		・制作	・絵の具などの特性をいかし、意図に応じて表現方法を工夫して、完成までの見通しをもって創造的に表している。（知・技）
	6 月		・生徒作品鑑賞	・他の人の作品からよさや美しさを感じ取りながら、道具の使い方や表現の工夫などについて考えるなどして、作品の見方や感じ方を深めている。（思）
	7 月	【鑑賞】 絵画・彫刻 日本美術作品 （飛鳥～鎌倉）（2）	・鑑賞	・形や材料などの性質が感情にもたらす効果や、つくられた時代背景や作品の特徴などをもとに、よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。（知・技） ・作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作品の特徴や作者の意図や工夫などを考えるなどして、自分なりの見方や感じ方を深めている。（思）
	9 月	【鑑賞】 絵画・彫刻 日本美術作品 （室町～安土桃山）（2） 【表現】 デザイン・工芸／絵画・彫刻 「木彫時計」（19）	・鑑賞 ・アイディア出し ・アイディアスケッチ	・形や材料などの性質が感情にもたらす効果や、つくられた時代背景や作品の特徴などをもとに、よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。（知・技） ・作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作品の特徴や作者の意図や工夫などを考えるなどして、自分なりの見方や感じ方を深めている。（思）
	10 月		・下絵 ・彫り方について ・制作	・テーマについて考えたことをもとに、意図に応じて形や彫り方、構図などを工夫して表現の構想を練っている。（思） ・道具や用具の正しい使い方や素材の特性を理解し、意図に応じて表現方法を創意工夫して創造的に表している。（知・技）
	11 月			
	12 月			
3 学 期	1 月		・塗装 ・部品取り付け ・展示準備	
	2 月	【鑑賞】 絵画・彫刻 「自画像」（1）	・生徒作品鑑賞 ・鑑賞	・他の人の作品からよさや美しさを感じ取りながら、道具の使い方や表現の工夫などについて考えるなどして、作品の見方や感じ方を深めている。（思） ・形や材料などの性質が感情にもたらす効果や、つくられた時代背景や作品の特徴などをもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。（知・技） ・作品のおもしろさやよさ、美しさを感じ取り、作品の特徴や作者の意図や工夫などを考えるなどして、自分なりの見方や感じ方を深めている。（思）
	3 月			